

7. 学社融合の実践

1. 令和7年度重点目標

(1) 特性を活かした施設の運用

複合型の教育施設である総合教育センターにおいて、施設の特性を活かし、学社融合の考え方に基づく施設運用を図る。

(2) 教育センター、少年科学館及び清水地区コミュニティセンターの連携

総合教育センターを構成する教育センター、少年科学館、清水地区コミュニティセンターの3館が円滑に事業推進できるよう施設の管理・運営を行い、相互に連携を図ることで、それぞれの機能・資質を向上させ、様々な分野の人材が交流・協働することで、市民に様々な学習の場を提供する。

2. 総合教育センター



名称 佐世保市総合教育センター

所在地 佐世保市保立町12番31号

電話 76-7330 内線 7500-100~102・130~132

沿革

平成22年10月1日に開館した複合型の施設で、教職員の研修施設である「教育センター」、主に児童生徒の科学教育を推進する「少年科学館」、清水地区の地域自治及び社会教育の拠点である「清水地区コミュニティセンター」の3つの施設から構成される。

1 施設の内容

鉄筋コンクリート造3階建（一部4階建）、延べ面積4,248.01㎡、総工費約13億6,500万円

(1) 少年科学館施設（783.33㎡）

プラネタリウム室、天体観測室、科学展示コーナー、理科室、サイエンスホール

(2) 教育センター施設（758.88㎡）

教科書センター、パソコン研修室、教材開発室、小研修室、中研修室、相談室

(3) 清水地区コミュニティセンター（747.558㎡）

講堂、工作美術室、講座室、調理実習室、和室、図書コーナー、事務室

(4) 供用スペース（1958.242㎡）

廊下兼ロビー、事務室、視聴覚ライブラリー等

2 視聴覚ライブラリー

社会教育・学校教育において視聴覚手段を活用して学習効果を高めるとともに、教育の機会を充実させるため、視聴覚ライブラリーの整備を図る。

・教材保有状況	16ミリフィルム	175本
	ビデオテープ	395本
	DVD	174本

視聴覚教材・機材の貸し出し

・教材の利用状況（単位：本）

年度	フィルム	ビデオ	DVD	計
29	7	13	112	132
30	10	5	115	130
R元	0	10	93	103
R2	0	2	53	55
R3	0	0	52	52
R4	0	0	37	37
R5	0	0	36	36
R6	0	0	24	24

3 利用状況

施設利用者数（単位：人）

年度	教育センター	少年科学館	清水地区コミセン	その他	計
29	23,912	56,094	41,304	4,453	125,763
30	26,674	49,481	38,543	2,760	117,458
R元	25,224	49,896	38,094	2,474	115,688
R2	20,231	16,357	17,635	985	55,208
R3	17,973	41,976	19,213	885	80,047
R4	22,483	39,576	28,801	1,228	92,088
R5	22,242	46,327	33,160	1,847	103,576
R6	24,163	45,145	30,267	1,692	101,267

3. 少年科学館



名 称 佐世保市少年科学館

所在地 佐世保市保立町12番31号（総合教育センター内）

電 話 23-1517 内線 7500-105~108

沿 革

少年科学館は旧児童文化館の後継施設として、平成22年10月1日、総合教育センター内に開館した。

目 的

児童及び生徒の科学に関する関心を深め、豊かな創造力と探究心を養い、未来の科学技術の発展を担う青少年の育成に寄与する。

1 施設の内容

(1) プラネタリウム室

延面積 122.25 m² ドーム内径 8.0m、定員 67 名

デジタルプラネタリウム

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

メディアグローブΣSE

(2) 天体観測室

面積 108.0 m² ドーム内径 5m

主鏡 高橋製作所 20cm屈折式望遠鏡

(3) その他

科学展示コーナー、理科室、サイエンスホール

2 事業

- (1) 主に児童及び生徒を対象とした各種科学分野の教室の開設及び研究活動の指導奨励に関すること
- (2) プラネタリウム・天体観測室の運営に関すること
- (3) 理科教育及びふるさと教育に関する資料の収集、作成及び提供に関すること
- (4) 各種関係団体、機関等との連絡及びその活動の支援に関すること

3 事業計画

(1) 少年科学館運営事業

科学への興味・関心を喚起するきっかけとして「天文」「環境」「エネルギー」「ふるさと教育」「下村脩氏」をテーマに、見て、触れて、楽しい体験ができる展示室の充実

① 広域都市圏招待イベント

8月下旬「星きらり 夏フェス」

② ふるさと教室

工場見学や科学工作など、星きらりサポーター（ふるさと教育協賛企業・団体）による、地元を知るきっかけとなる教室の実施

(2) プラネタリウム・天体観測室事業

① プラネタリウム各種番組の放映

○ 学校等団体用放映

学校向けに学年や学習に応じた内容で構成

○ 学習放映

天文に関する基礎的な内容で構成

○ 一般放映

天体への興味・関心を高める内容で構成

○ 特別放映

有名解説員やインフルエンサーなど、特別講師による放映、コラボ企画

② 天体観望会

○ 長崎県天文協会の協力のもと夜間に実施

○ 昼間の太陽観望会を実施

(3) 科学大好き事業

① 科学大好き教室

「夏休み子ども科学教室」「チャレンジ科学教室」

② 少年科学教室

「九十九島の自然」「天文」「楽しい電気」 3教室

③ 科学イベント

5月5日「こどもの日GO!GO!科学教室」

2月初旬「サイエンス広場で遊ぼう」

④ 下村脩ジュニア科学賞 SASEBO

科学的発想に基づき、発見・観察・実験・調査などを行ってまとめた作品を募集・審査し優秀な作品を表彰

⑤ 小・中学校の学校理科支援

学習内容に応じた理科学習プログラムの実施

⑥ サイエンスショー

科学への興味・関心を高める実験ショーの実施

⑦ おもしろ工作ひろば

科学への興味・関心を高める科学工作の実施

(4) 理科学習支援事業

市内及び西九州させぼ広域都市圏の公立小学校4年生を対象とした少年科学館理科学習の実施

① プラネタリウムでの天文学習

② 天体観測室での太陽や月の観察

③ ふるさと学習

(5) 少年科学館ふるさと未来事業

官民協働により、児童及び生徒の科学に対する関心を深め、豊かな創造力と研究心を養うことを目標に、ハッカソンやアイデアソンなどの体験学習を行う。

(6) その他

① 3館での連携

(教育センター・清水地区コミュニティセンター)

② 学社融合事業

4 少年科学館事業参加者数

令和 2年度	26,640人
令和 3年度	43,886人
令和 4年度	40,647人
令和 5年度	46,997人
令和 6年度	45,729人